広報 美濃加茂市

発行所 美濃加茂市役所
編集人 秘書課長 小藤 栄
印刷所 可茂新聞社

日赤社員加入及び募金のお礼

昭和三十四年度の日本赤十字社の社員の募集及び募金は次の通りの好成績でありました。

自動車部 一三七、一〇〇円
遠藤部 一一三三、三〇〇円
内訳 旧会員一九名 新社員六名

市庁舎の本年度着工など重要案件を可決

第三回定例市議会

第三回定例市議会は七月二十一日開催せられ、特に重要な市庁舎の建設及び、統合中学校の位置の決定など重要議案十五件を可決し、市政伸展第二段階の歩幅を着手することになったが、以下第三回定例市議会の概要は次の通りであった。

七月二十一日で暑りましたが、一応慎重しかた午前九時三十分ちましたので市役所新庁舎建設等開催し、冒頭市長の開会挨拶を提案致しましたので宜しく御審議の程、お願い申しあげます。」との挨拶があり、続いて提出議案十四件について説明が加えられ同じも議案通り可決され追加案として上程された東部中学校の位置決定等について無記名投票の結果これを可決し、午后二時三十分第三回定例議会を閉じた

本会議は四月一日の開催の暫定予算に基とて行う市職員の給与手当及び初任給引上げに伴う、市職員の給与の改定をするもの。

ア昭和三十四年度一般会計及び特別会計の追加更正予算等四件で一般会計九、七五一千円、特別会計一、一六一千円で主なるものは、

ア美濃加茂市役所庁舎建設費千百万円を始め、土地区画整理事業費一、九四四千円等である。

ア美濃加茂市役所新庁舎建設について

ア自動車部新庁舎建設費（市役所新庁舎建設費）

ア昭和三十六年度新築昭和三十六年度新築加茂市役所庁舎建設費備品等新築設計及び法令等

ア昭和三十六年度新築加茂市役所庁舎建設費

ア昭和三十六年度新築加茂市役所庁舎建設費

ア美濃加茂市役所新庁舎建設費備品費

ア昭和三十六年度新築加茂市役所庁舎建設費

ア備品費について

ア昭和三十六年度新築加茂市役所庁舎建設費

（市役所新庁舎建設費備品費）

ア美濃加茂市役所新庁舎建設費備品費

ア昭和三十六年度新築加茂市役所庁舎建設費

ア昭和三十六年度新築加茂市役所庁舎建設費

ア昭和三十六年度新築加茂市役所庁舎建設

市民広場

古井町提灯祭　市商工会古井支部ではお盆であった7月19日には千数百の提灯で水道山を飾り夏の夜の興を深く感えるとともに又南山公民館前広場で盆踊りや野外演芸大会を開いた。又8月23日には第一回市内青少年相撲大会を開催するなど、華やかな夏まつりが繰りひろげられる。

テレビを北中に贈る　三和町天池武義氏は去る6月北中学校に17吋テレビを寄附され、教育テレビとして児童達は大喜びであり7月23日の給食祭の折、渡辺市長より感謝状が贈られた。

篠辺婦人学級歌集々むつみ々発行　加茂野町篠辺婦人学級の短歌グループの三年間の歌を集めて歌集々むつみ々（A5版上質紙21頁）が発行され、20名のグループ員の歌が載られている。小栗宗紅先生（社教主事）の序のなかで「グループの性格が歌人をめざしているのでなく、家庭の主婦としての歌味教養を身につけるところにねらいがあるので、生活のにじみ出た歌を上手でも下手でもよいが作つてもらつたと」云つておられるように、むしろそうした処にこの歌集の美しさがみられるようだ

夕なべに豚の餌さ煮る
いとし兄等はくらりくらりと居眠りをして（関宮多賀）
いとし子が家鳴見ていて
泣に落ち泣きわめきて居るあわれさ（渡辺ひさ）

国民健康保険に感謝　私は6月思いもよらぬ脳ねんてんの大手術を受けた者です。50才の今日に至るまで病一つ苦つたことのない私が病魔におかされ、家族一同驚愕に暮れましたが幸い市の国民健康保険に加入していたので早速その手術を受けました。幸い経過もよく日一日と健康を取戻しています。心配していた手術料も保険による給付を受けて少なくて済みまして只感謝している次第です。保険によりお互いの健康を守り明るい家庭を作ることが何より幸福だと思います。助けて戴いて本当に有難とう御座いました。今後は一日も早く元の健康体になり御恩返しを致したいと思います。先ず広報の一端をお借りして国保関係者皆様にお礼申上げる次第です。（太田町主婦）

イタリヤの国際学生大会に渡辺選手（中央大）頑張れ

本市の生んだ日本陸上界のホープ中央大学渡辺国昭選手は古井町川合で古井中学出身、長良高校より中央大学に進学し、東海五県陸上競技大会の1,5000メートルに2分59秒9の日本新記録を出して陸上界のホープとして、ローマオリンピックから東京オリンピックの活躍が期待されている折、来る8月27日から9月9日までイタリヤのトリノで行われる国際学生大会に日本代表として出場し、その後ヨーロッパ各国の国際競技に参加することになり7月25日挨拶のため市役所に渡辺市長を訪問、渡辺市長を始め渡辺（元）体育協会長、伊藤教育長より在途の激励を受けた。尚今後渡辺選手の後援会を結成し活躍を期する計画が進められている。（右より3人目）

名産"富有柿"を中心に果樹園造成を図る

（山之上地区ブルトーザー開墾）

農業経営の安定と、農村水産の向上を計るために、新農村、農業経営近代化構造等が進められ、団地造成による特別設置が計られて来たが、特に全国一の所産をつけられた名産富有柿を中心とした果樹の増殖が叫ばれている。

戦後生活改善が唱ぐ叫ばれ、就中食生活の合理化によつて果実の消費は増大しつつあるが、此の系統の補給地である美濃加茂市は、現在約一万トン程の富有柿の原産地として、名称と共に広く賞賛されて来た。

こうした観点に照らし、この地域の特産物である山之上地区の果樹園造成に関する、こうして産まれた土地を開墾し一大果樹園を造成し、農業経済の向上を計るため果樹栽培に適する山之上、鮎馬、加茂野に亦る数百町歩の広域、傾斜地で、品質に勢て金銭第一の所産の富有柿を栽培するため市においては、目下あらゆる角度から研究、計画に努力を傾けている。

尚も此の計画に関係市にのりだし、その第一段階として土壌調査を果樹園造成計画予定地内において、農業試験場職員で、本年九月中に六十箇所の調査を実施し、土壌の性質を明らかにし適所適作を決定し果樹の成育の安全性を計ることになった。七月十三日には農業試験場職員金山と農林部技師はこの知識の開発を図り果樹園及び指導センターの視察調査に来市された。こうして該当地域の果樹園造成をされる為に、市では関係について助成金交付、供与苗金銭貸付、ブルトーザーの斡旋等を図って開墾、開発を計ることになった。

美濃加茂市

市体育協会を強化
会長に渡辺茂三郎氏

市の体育協会を計るために、かねて体育協会の強化が望められていたが六月十七日第臨時総会を開催の新役員次の通り決定した。

名誉会長　渡辺栄一
会長　渡辺茂三郎
副会長　太田豊市
　　長谷川次郎
理事長　野口田三
理事　伊藤義夫
　　坂井孝彦
　　坂本太郎　西川泉
　　木村三郎　吉田清夫
　　多々良弘　鷲見昇
　　吉田義平　永田武三
　　鷲辺幸吉　日下部資代一
　　山本薫　鷲田正一
　　関万敬夫　三浦義雄
　　小栗宗八　日比野義
　　杉山庄八　御田栄好
事務局長　山田義平
会計　加藤勉

市民体育大会に好記録

七月十二日加茂郡等学校々庭で開催された市民体育大会陸上競技の部において好記録が生れ、著しい選手を見たが、特に古井町日比野郁子さんの二百米の二八・五秒、走り巾跳の四・七二米は県記録に近ぢかめるとして注目される。

美濃加茂市選手団入場式

剣道、県下都市体育大会に優勝

夏のスポーツの祭典として八月一、二日県庁前広場に開催された第八回県下都市体育大会に渡辺茂三郎団長以下二三名の美濃加茂市選手団は、郡上の岐阜と対戦したが、特に剣道の太田（和）、森（勇）、和田、太田（千）氏は、飛騨の高山、中津川、岡、郡上を次々に倒し遂に決勝戦の優勝をなしとげ、卓球の部三位入賞（前田、岩倉、加藤、三島、津田、鷲尾、三浦、金森）と共に郡上に同点の三位となつた。

国民健康保険の利用
一ケ月約二、五〇〇件

四月発足した国民健康保険は、三、四二六世帯一五、九八六人であるが一ケ月約二、五〇〇件の利用があり、明るく健康な家庭を築くのに役立ち、病弱者に同情となつているが、次のような場合は市役所国保係へ、被保険者証をそえて届出下さい。

一、助産費等を引続き出り下さい被保険者で出産又は死亡された方があつた場合、助産費又は葬祭費一件につき五百円支給されるので支給申請書を提出下さい。

二、被保険者の家族のうちで出生死亡、転入、転出又は他の国保保険へ、共済組合等の被保険者資格が出来たとき、又はなくなつたとき被保険者証を添えて届出下さい。

三、被保険者や家族他の市町村へ転居される場合は、被保険者証を添えて届出下さい。

四月発足した国民健康保険は、次の事項を引き続き出り下さい。

一、被保険者証等で市内の供の町内会長証明された場合被保険者証を届出下さい。

小団地の開発進む

公共事業として団体賃貸住宅の建設に該当しない二千〇八〇メートル以下の小団地を開発するために、今年再び小団地開発地区の指定を受け、鮎馬、牧野、蔡野の開発計画をすることになつたが、今年は次の五地区で総事業費一千万万七千円で調査計画事業として施行することになつた。

野別所盛道（鮎馬）　三七六米
諸田盛道（鮎馬）　五六八米
小針盛道（太田）　三〇〇米
伊和牧道（鮎馬）　七三〇米
日置別盛道（三和）　三二米
計　二、二五〇米

尚市民総世帯改正編成において、昨年と引続き組織地区の調和、特土事業も進行と共に改正つよう計画している。

昭和三十三年度納税成績優良自治会

市税の納付については自治会、納税組合に協力願い、その成果を上げといますが、今年度の納税組合の表彰の他に次の通り自治会を選んだ他に表彰することになった。

【太田町】栄、北一、下町、上本町、旭町、上町、野下上、西町
【古井町】大新田、宮西、鳥、柴東、上垣、野牧、京町、川合東三
【田方地区】本地、上武、西河、南泉、田端
【鮎馬町】鳥之河、大仲寺、作り河、鮎田、上田原、下田原、広瀬
【加茂野町】今泉河、蛭之原、篠辺、木村、加茂野、新田
【伊深町】大河、稲屋、上本郷
【三和町】上宮田、中宮殿、下宮田、下田城、日置河、茅古地、中川河、上川部
【下米田町】伝法、山本、為田、東物井、桜上、長森戸、中屋敷、下東、下四

英ちゃん等十名
昭和三十四年度の優良赤ちゃん決まる

昭和三十四年度の乳幼児健康診査の検査は、三九八名の受診者を加茂保健所の係員により行われ、全体に高いレベルで検査結果はられしい結果を上げていたが、特にすぐれた次の優良児が決つた。

優良児

【乳児の部】前岡英治（鮎馬一三）、佐藤広美（野原一下米田）、加藤多喜子（宮一一仲原）、野口十良子（芳一一鷲田）

【幼児】森田金田（岡一加茂野）、石原昌子（鮎一原一山之上）

【入学】加藤弘志（宮安一太田）、原田幸子（鮎原一古井）

【栄養】鷲辺寛一（二一古井）

人口十年の歩み

市勢の人口動態は、戦後、人口の動きに伴て、多少不安の感を抱くことが出来るので、今迄みの所感として下さい。

一、戸数

二百平方米以下人が世帯構成で、十年前と現在では七三戸の自然増加であり、市勢図に増加し、市区画整理以後は特にその傾向が目立つているようです。

二、人口

人口の増減、昭和二十三年に比べると一、五四八人の増加となつております。

男女別では女性が三百人から四百一百一・九人減れることになり、人口減少多くなつております。これは古井町の出張所千葉の女工さんの移動に大きく左右されますが、何と云つても平均年令の男六〇、現在は男性の方に多くなつている。

三、出生

出生数は年々増加してみると、一年に約十二戸（六十名）に対し五人に対し女一〇〇人の割となつ

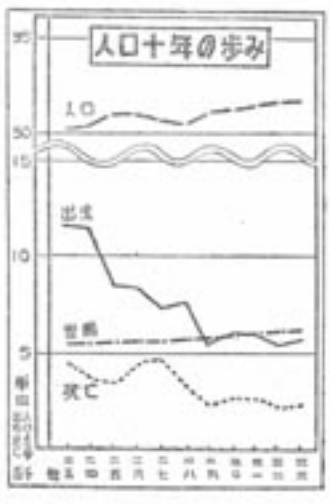
四、死亡

昭和二十一年頃を分岐点として減少、現在は男性の方が多くなつている。

五、婚姻

全国的に出生数計上には明一〇人の赤ちゃんが生れ、市では平均おりますが、近代化の波はよくもまあこんなに順調に人口を増やしたものと思います。市では結婚は一日〇・八組の割となつています。

【注】市勢調査結果の数字は合併計算による。



ブラジル等二国コチア農業組合の呼寄家族移民募集

一、募集数及び締切期日
（イ）八月二十日　十五世帯
（ロ）十月二十日　十五世帯

二、資格

農業者及び農業者で二人以上を持つた百姓家族で満十五才以上満五十才までの健康者が三名以上いること

三、応募条件

郡別は昭和三年で三年間は日数で三百日以上農業専従力による8年合とする

郡であり家族が、官庁等があり、ましたら、詳しいことは社会課係員に相談合せ下さい。

「わが家の家計簿」体験談を

次のように家計記録の体験談が新市場地中央部長会で発表されています。

第一部『家計の記録をしたいけれど』

岡部『私は家計簿一年生』

第三部『わが家の学歴焦点』

本文の学歴は二、五〇〇年程度にして下さい。

期日　昭和三十四年八月三十日

場所　岐阜県庁前岐阜県庁地力農業研究センター

会場　岐阜市河渡岐阜県庁地力農業研究センターの各部屋

申込　しては市役所にお問合せ下さい。

日比野良重（元興一古井）

尚整診によると、生後四ケ月頃の乳幼の検査結果は、三九八名中異常なし一一名、要合二一名、人工八名あつたが、家庭事のうちで約一割に近い乳児が風邪、胃腸、脳出中耳炎等の治療指導が必要であり今後検査を要するが、その原因、教育状況は前年度より良好ともに全国平均より上回わつていることは喜ばしいことであつた。

今後健康優良児の

審査は九月に。

昭和三十三年八月一日より昭和三十四年七月三十一日までに生まれた赤ちゃんについて審査されるが、詳しくは連絡所を通じて連絡の予定である。